

**自然災害時における
亜急性期
保健医療支援活動マニュアル
チェックリスト**

チェックリスト

派遣支援委員会に関するチェックリスト

区分	活動項目
立ち上げ	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 1. 支援委員会メンバーの決定と召集<input type="checkbox"/> 2. 役割分担の確認<input type="checkbox"/> 3. 事務局の設置
派遣支援中	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 1. 定期会議の実施<input type="checkbox"/> 2. 国及び県への災害支援登録および支援要書の取り付け<input type="checkbox"/> 3. 活動方針の策定・見直し<input type="checkbox"/> 4. 派遣者の募集および決定<input type="checkbox"/> 5. 派遣計画作成およびその管理<input type="checkbox"/> 6. 情報収集、整理、活用<input type="checkbox"/> 7. 組織の災害対策本部および関係機関への報告<input type="checkbox"/> 8. マスコミ対応

チェックリスト

後方支援活動チェックリスト

区分	活動項目
連絡・情報	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 1. 連絡手段を確保する<input type="checkbox"/> 2. 連絡先一覧を準備する<input type="checkbox"/> 3. 定時連絡を行う<input type="checkbox"/> 4. 派遣支援委員会への報告<input type="checkbox"/> 5. 派遣前オリエンテーションを行う
移動手段	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 1. 移動手段を決める<input type="checkbox"/> 2. 移動車両の準備をする(車両で移動する場合)
資材物品	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 1. 医療活動以外の必要物品を準備する<input type="checkbox"/> 2. 医療材料と医薬品を準備する
宿泊	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 1. 宿泊先を手配する

チェックリスト

支援活動地域の決定(DMAT 以外)に関するチェックリスト

区分	活動項目
決定前	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 厚労省からの派遣要請や依頼の有無を確認する <input type="checkbox"/> 外部機関からの派遣の依頼の有無を確認する <input type="checkbox"/> 組織として単独で支援活動を行うかどうか組織の意思決定者に確認する <input type="checkbox"/> 他の関連団体の動きを確認する <input type="checkbox"/> 組織内での支援活動地域の意思決定へのプロセスを組織の災害対策本部内で確認する <input type="checkbox"/> 被災地域とそこまでの地図本を集める(本として車の中で見ることができるもの) <input type="checkbox"/> 被災地の都道府県のホームページで支援活動地域の文書(支援依頼、支援の登録方法)を確認する <input type="checkbox"/> DMAT からの情報を得る <input type="checkbox"/> 衛星電話を準備する
現場での調査	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現地の災害対策本部(通常、県庁内、市役所内にある)へ行き、状況やニーズを確認する <input type="checkbox"/> 災害対策本部で支援するための登録があれば行う <input type="checkbox"/> 調査として医療機関に入る場合、該当地域の病院へ行き、統括者に状況を確認する <input type="checkbox"/> 被災現場に入る場合は、該当地域の保健センターに行き、保健師に状況を確認する <input type="checkbox"/> 避難所がある場合は、避難者から直接ニーズなどを確認する <input type="checkbox"/> 被災地域の医師会の動きを確認する <input type="checkbox"/> 関係者間の関係図を作成する <input type="checkbox"/> 何ができるかを支援活動地域の実務者及び統括者と協議する <input type="checkbox"/> 支援地域の統括者、キーパーソンなどの連絡先を確認する <input type="checkbox"/> 調査結果を本部へ報告する

チェックリスト

出発前チェックリスト

区分	活動項目
全員共通	<input type="checkbox"/> 1. 家族の同意をとりつける <input type="checkbox"/> 2. 職場の勤務調整を行う <input type="checkbox"/> 3. 担当より派遣前オリエンテーションを受ける <input type="checkbox"/> 4. 個人の携行品を準備する <input type="checkbox"/> 5. 災害および被災地の情報を収集する <input type="checkbox"/> 6. 医療救護チームの集合場所・時間を確認する
チームリーダー	<input type="checkbox"/> 1. 所属医療機関の支援方針を確認する <input type="checkbox"/> 2. 派遣される医療救護チームの活動期間、メンバー、活動予定を確認する <input type="checkbox"/> 3. 所属医療機関、メンバー相互間との連絡方法(手段、時間)を確認する <input type="checkbox"/> 4. 現地の活動関連情報を収集する
業務調整員	<input type="checkbox"/> 1. 資機材を調達する <input type="checkbox"/> 2. 資機材を確認する <input type="checkbox"/> 3. 実務担当者と連絡先を交換する <input type="checkbox"/> 4. 移動計画の作成
医師	<input type="checkbox"/> 1. 現地の気候や災害の種類と規模に応じて、想定される疾患を確認する <input type="checkbox"/> 2. 学会等から災害時の対応について各種指針が出されているか確認する <input type="checkbox"/> 3. 想定される診療形態(巡回診療もしくは定点診療など)を把握する
看護師	<input type="checkbox"/> 1. 被災地での活動に必要な看護関連物品を準備する <input type="checkbox"/> 2. 現地のライフラインに応じた看護・保健衛生活動に必要なパンフレットを準備する <input type="checkbox"/> 3. 被災状況と収集した情報により、想定される看護の準備をする <input type="checkbox"/> 4. 携行物品・医薬品を最終確認する
薬剤師	<input type="checkbox"/> 1. 被災地での活動に必要な薬剤関連資材を準備する <input type="checkbox"/> 2. 医療救護所における処方・調剤の方法について打ち合わせる <input type="checkbox"/> 3. 医療救護チームにおける薬剤師の役割・活動内容について打ち合わせる

チェックリスト

現地での活動準備チェックリスト

区分	活動項目
全員共通	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 先発医療救護チームからの引継ぎ <input type="checkbox"/> 2. 活動地域の指揮系統、報告義務を確認 <input type="checkbox"/> 3. 活動地域の避難経路、連絡手段等の安全対策を確認 <input type="checkbox"/> 4. 活動地域の診療活動方針を確認 <input type="checkbox"/> 5. 他の医療救護チーム(心のケア、こどものケア等)の活動状況を確認する <input type="checkbox"/> 6. チームの活動方針を確認
チームリーダー	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 所属医療機関に到着報告 <input type="checkbox"/> 2. 活動する被災地自治体の災害対策本部と合同医療救護チーム本部に登録を行う <input type="checkbox"/> 3. 災害対策本部ならびに合同医療救護チーム本部の指揮系統、報告義務、安全対策、診療活動方針等を入手する <input type="checkbox"/> 4. 活動地域の指揮系統、報告義務、安全対策、診療活動方針等のチームへの周知 <input type="checkbox"/> 5. 地元医師との話しあい、役割分担の確認 <input type="checkbox"/> 6. 他の医療救護チームとの話しあい <input type="checkbox"/> 7. チームの活動計画作成
業務調整員	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 現地での緊急車両登録を行う <input type="checkbox"/> 2. 宿泊先を確保する <input type="checkbox"/> 3. 活動地点での電気、水道、ガスなどのライフラインの状況を確認する <input type="checkbox"/> 4. 活動地域の地図の入手
医師・看護師	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 定点診療の場合、医療救護所の設営をする <input type="checkbox"/> 2. 設営する医療救護所の医療ニーズを含む周辺情報を収集する <input type="checkbox"/> 3. 診療の手順についてメンバー内で取り決めをする <input type="checkbox"/> 4. 診療録の取り扱いについて、メンバー内で取り決めをする
薬剤師	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 医療救護所内に医薬品の保管場所および調剤場所を設置する <input type="checkbox"/> 2. 調剤場所に調剤用物品を配置する <input type="checkbox"/> 3. 巡回用医薬品のセットを準備する。(巡回診療を行う場合) <input type="checkbox"/> 4. 現地での薬剤師同士の連携が取れるように努める <input type="checkbox"/> 5. 現地での医薬品等の補給方法を検討する <input type="checkbox"/> 6. かかりつけ医からの慢性疾患治療薬の入手方法を確認する

チェックリスト

現地での日常活動チェックリスト

区分	活動項目
共通	<input type="checkbox"/> 1. チーム内ミーティングへの参加 <input type="checkbox"/> 2. 活動日誌を作成する
チームリーダー	<input type="checkbox"/> 1. 医療救護チーム代表者定例ミーティングへの参加および運営支援 <input type="checkbox"/> 2. チーム内ミーティングの開催 <input type="checkbox"/> 3. 地域保健医療情報収集・分析(ニーズ変化、患者紹介施設、周辺情報などの把握) <input type="checkbox"/> 4. (二次医療圏または市町村)災害対策本部などへの補充品要請 <input type="checkbox"/> 5. チームメンバーの健康管理 <input type="checkbox"/> 6. 変化するニーズに合わせてチームの活動計画を更新 <input type="checkbox"/> 7. 後発医療救護チームの必要性判断 <input type="checkbox"/> 8. 所属機関への定時報告
業務調整員	<input type="checkbox"/> 1. 車の運転・メンテナンスを行う <input type="checkbox"/> 2. 一般ゴミ、医療ゴミの管理 <input type="checkbox"/> 3. 医療救護チームの健康を守るため食事、活動時間等の生活環境を整える <input type="checkbox"/> 4. 巡回診療に同行する場合、設営・診療の補助を行う <input type="checkbox"/> 5. 周辺医療機関情報(場所、被害状況、機能)の把握の補助
医師	<input type="checkbox"/> 1. 診療活動(定点診療、巡回、往診)を行う <input type="checkbox"/> 2. 避難所や被災者に対する健康に関するアドバイスを行う <input type="checkbox"/> 3. 医療救護チームで対応できない患者の搬送・専門家への引継ぎ <input type="checkbox"/> 4. 慢性疾患患者の処方または処方薬の取り寄せを行う <input type="checkbox"/> 5. 診療録・医療支援活動日報の記載と分析を行う <input type="checkbox"/> 6. スタッフ、地元災害対策本部のメンバーの健康管理を行う
看護師	<input type="checkbox"/> 1. 巡回診療訪問前に、診療メンバー内ミーティングを行う <input type="checkbox"/> 2. 定点診療、巡回診療、往診時の診療介助を行う <input type="checkbox"/> 3. 避難所生活における予防・衛生活動を行う <input type="checkbox"/> 4. 診療に使用した医療器械の簡易消毒 <input type="checkbox"/> 5. 避難所のニーズの把握に努める <input type="checkbox"/> 6. 診療活動中に収集した情報を整理する <input type="checkbox"/> 7. 巡回診療などで発見された要支援者の情報や避難所の課題を、地元保健師に提供する <input type="checkbox"/> 8. 翌日の診療準備を行なう
薬剤師	<input type="checkbox"/> 1. 医療救護所で調剤・服薬指導を行う <input type="checkbox"/> 2. 巡回診療に同行し、調剤・服薬指導を行う <input type="checkbox"/> 3. 限られた医薬品で最良の処方出来るように、医師に処方アドバイスを行う <input type="checkbox"/> 4. 保健師、看護師と連携をとり被災住民への感染予防活動を行う <input type="checkbox"/> 5. 使用した薬、供給された薬を集計・記録し、救護所や携行した医薬品の在庫を把握する <input type="checkbox"/> 6. 不足が予測される医薬品について、供給の手配を行う <input type="checkbox"/> 7. 診療時の事務作業(受付、カルテ整理など)、処置の補助

8. 所属施設と頻回に連絡を取り、活動状況の報告、必要な支援の依頼を行う

チェックリスト

引継ぎ・撤退活動チェックリスト

区分	活動項目
全員	<input type="checkbox"/> 1. 後発医療救護チームへの引き継ぎ <input type="checkbox"/> 2. 各種マニュアル・資料の見直し <input type="checkbox"/> 3. 救護活動を行う際に連携をとって活動していた相手に、活動終了の連絡を行う
チームリーダー	<input type="checkbox"/> 1. 医療救護チームの縮小・撤退条件を確認する <input type="checkbox"/> 2. 撤退に関して避難所リーダーを含む関係者と協議する <input type="checkbox"/> 3. 組織としての撤退を関係者と協議する
業務調整員	<input type="checkbox"/> 1. 撤退のための移動手段を確保 <input type="checkbox"/> 2. 持ち帰る荷物の整理
医師	<input type="checkbox"/> 1. 地元医療機関へ患者の引継ぎ紹介を行う <input type="checkbox"/> 2. 診療活動の継続の必要性をアセスメントする <input type="checkbox"/> 3. 診療録を整理し、保管場所を確定する
看護師	<input type="checkbox"/> 1. 活動終了時の携行資機材の定数を確認する <input type="checkbox"/> 2. 救護活動を他のチームに引き継ぐ場合、活動状況や使用物品の残数等を正確に報告する <input type="checkbox"/> 3. フォローや支援の必要な患者や避難者を地元保健師に引継ぐ
薬剤師	<input type="checkbox"/> 1. 活動終了時の医薬品の在庫を明確にする <input type="checkbox"/> 2. 活動終了時の残薬の取り扱いを検討する

チェックリスト

区分	活動項目
出発前	<input type="checkbox"/> 1. 携行用物を準備する <input type="checkbox"/> 2. 当該自治体の基本情報(年齢階級別人口、面積、保健医療施設)を確認する
現地での準備活動	<input type="checkbox"/> 1. 当該市町村衛生主管部・課、保健センターに行き、支援ニーズを確認する <input type="checkbox"/> 2. 市町村保健衛生主管部・課の災害時の保健活動体制を確認する <input type="checkbox"/> 3. 被災地における保健医療活動の指揮系統を確認する <input type="checkbox"/> 4. 被災地における保健医療活動の全体像を把握する
支援活動	<input type="checkbox"/> 1. ニーズに応じて、保健師の業務を軽減するあらゆる支援を行なう <input type="checkbox"/> 2. 余計な調整業務を生じさせないように、興味本位の調査や活動は慎む <input type="checkbox"/> 3. 医療救護チームの活動情報などが保健師に集約されるように支援する <input type="checkbox"/> 4. 保健師も被災者であることを忘れずに、出来るだけ継続的な支援を行なう <input type="checkbox"/> 5. 精神的サポートを行う

添付資料

添付資料1:連絡先一覧例.....	12
添付資料2:活動状況報告書(例1).....	13
添付資料3:活動状況報告書(例2).....	14
添付資料4:巡回診療日誌例.....	15
添付資料5:医療救護チーム派遣のためのオリエンテーションシート例.....	16
添付資料6:搬入物品一覧.....	17
添付資料7:業務日程表例.....	18
添付資料8:災害医療支援関連サイト.....	19
添付資料9:医療救護チーム1チームあたりに必要な物品一覧例.....	20
添付資料10:災害時携行用医薬品リスト.....	21
添付資料11:災害時携行用薬剤関連資材リスト(亜急性期・1週間分).....	25
添付資料12:処方せん(災害用).....	26
添付資料13:災害医療援助者自身の「こころのケア」.....	27
添付資料14:急性期の災害看護.....	29
添付資料15:外傷看護の実際.....	30
添付資料16:石巻圏合同救護チームの避難所アセスメントシート例.....	33
添付資料17:石巻圏合同救護チームの避難所生活における感染管理上のリスクアセスメントシート例.....	34

添付資料1:連絡先一覧例

連絡先	電話番号
災害対策本部派遣支援委員会事務(専用直通回線)	〇〇〇-△△△-×××××
チームリーダー(専用携帯電話)	〇〇〇-△△△-×××××
幹部	
理事長	〇〇〇-△△△-×××××
病院長	〇〇〇-△△△-×××××
国際医療協力局長	〇〇〇-△△△-×××××
国府台病院長	〇〇〇-△△△-×××××
国府台事務部長	〇〇〇-△△△-×××××
派遣支援委員会	
救急部長(委員長)	〇〇〇-△△△-×××××
企画戦略室長	〇〇〇-△△△-×××××
看護部長	〇〇〇-△△△-×××××
薬剤部長	〇〇〇-△△△-×××××
庶務課長	〇〇〇-△△△-×××××
派遣支援センター長	〇〇〇-△△△-×××××
被災地関係者	
宮城県災害対策本部医療担当	〇〇〇-△△△-×××××
国立病院機構仙台医療課長	〇〇〇-△△△-×××××
石巻医療圏災害コーディネーター	〇〇〇-△△△-×××××
石巻医療圏合同救護本部事務局	〇〇〇-△△△-×××××
東松島市矢本保健相談センター	〇〇〇-△△△-×××××
東松島市災害統括保健師	〇〇〇-△△△-×××××
医療救護チーム3次隊	
◎◎チームリーダー(個人携帯電話)	〇〇〇-△△△-×××××
××業務調整員	〇〇〇-△△△-×××××
〇〇医師	〇〇〇-△△△-×××××
□□看護師	〇〇〇-△△△-×××××
△△薬剤師	〇〇〇-△△△-×××××
医療救護チーム4次隊	
◎◎チームリーダー(個人携帯電話)	〇〇〇-△△△-×××××
××業務調整員	〇〇〇-△△△-×××××
〇〇医師	〇〇〇-△△△-×××××
□□看護師	〇〇〇-△△△-×××××
△△薬剤師	〇〇〇-△△△-×××××
その他	
◇◇ホテル	〇〇〇-△△△-×××××

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

保健医療活動定時報告書
第〇〇日目

1. 活動内容 (チームの状況および患者の状況も含む)

先発隊 メンバー:	後発隊 メンバー:
巡回診療活動 避難所名: 診療実績: 特記すべきこと: その他の活動	

2. 医療派遣チームの生活状況

- ① 健康状況:
- ② 宿泊状況:
- ③ 車両:

3. 明日の活動予定

4. 被災状況および復旧/復興状況:

5. 他の支援組織の動き:

6. トピック、今後の支援のあり方へ提言

添付資料 3: 活動状況報告書(例 2)

日時	月 日()		時間:		時	分	～	時	分	
チーム名					スタッフ:Dr 名/Ns 名/PHN 名					
診療場所					薬 名/PSW 名/事務 名					
治療内容										
番号	氏名	生年月日	初・再	性別	再掲			病名	治療処置内容	備考
					老人	小児	妊婦			
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
診療者内訳			男							
			女							
			計							
特記事項										

チーム名

— —

月日	時間	診療(巡回)地区	目的	参考
月 日	: ~ :			
	: ~ :			
	: ~ :			
	: ~ :			
	: ~ :			
	: ~ :			
	: ~ :			
	: ~ :			
	: ~ :			
	: ~ :			
(記入例)				
10 月 29 日	8 : 40 ~ 9 : 5	〇〇小学校避難所	診療・衛生材料配布	心のケア同行
(特記事項)				

● 派遣日程等

派遣形態:出張扱い(労災適応)

派遣期間:平成 年 月 日() ~ 月 日()

集合日時:平成 年 月 日() 時

集合場所:

● 事前ミーティング

日時:平成 年 月 日() 時 分

場所:

● 派遣先および業務内容

派遣先:〇〇県〇〇市

業務内容:

追加業務:

(例:医師:診療データ管理、看護師:医療資機材管理と隊員の健康管理、薬剤師:医薬品管理など)

詳細の引き継ぎは、現地にて行います。

● 連絡先

緊急連絡先(現地):000-0000-0000(チームリーダー所持の携帯番号)

緊急連絡先(本部):000-0000-0000(医療派遣事務局)

詳細は、チーム毎の緊急連絡先リスト参照

● 宿泊等

宿泊先:

準備物品:

食事:

日当:

宿泊費:〇〇が負担

交通費:△△が負担

● 現地の状況

〇〇市のライフライン:水道は地域により復旧。電気あり。仮設トイレ使用中。携帯電話可能。状況は日々変化しますので、最新情報取得に努めて下さい。

派遣中は、業務や生活面で不自由な事が多くあります。現場にある資機材を創意工夫してご使用下さい。また、チームワークを大切に、職種に拘ることなく、自己の健康管理に留意され、被災者救援のために活動して頂きますよう、ご協力の程宜しくお願い致します。

以上

別途作成のものが挿入

医療救護チーム業務日程

医療派遣事務局

(ア) 出発前日

〇〇:〇〇 : オリエンテーション

(イ) 1日目

〇〇:〇〇 : 〇〇〇に集合

〇〇:〇〇 : 〇〇〇前より出発

〇〇:〇〇 : 〇〇県到着

必要に応じ、災害対策本部に登録

〇〇:〇〇 : 〇〇市到着

先遣隊との引き継ぎを職種または担当業務毎に実施

(ウ) 2～4日目

〇〇:〇〇 : 宿泊施設出発

〇〇:〇〇 : ミーティング

〇〇:〇〇 : 巡回診療へ出発

〇〇:〇〇 : 昼食

〇〇:〇〇 : 午後の診療へ出発

〇〇:〇〇 : 保健師に活動報告

〇〇:〇〇 : 宿泊施設へ移動、担当毎の作業

(エ) 5日目

〇〇:〇〇－〇〇:〇〇 : 前日と同様

〇〇:〇〇 : 後継隊への引き継ぎ(到着日と同様のスケジュール)

〇〇:〇〇 : 出発

〇〇:〇〇 : 到着

以上

添付資料 8: 災害医療支援関連サイト

* 災害医療全般・災害時に多い疾患

広域災害救急医療情報センター: 広域災害医療救急情報システム

(<http://www.wds.emis.go.jp/>)

日本老年医学会: 災害時高齢者医療の初期対応と救急搬送基準に関するガイドライン

(http://www.jpn-geriat-soc.or.jp/member/kaikai/koku_saigai-guideline.html)

日本栓子検出と治療学会: 静脈血栓塞栓症予防資料

(<http://www.embolus.jp/information/vteposter.pdf>)

日本心臓病学会: 震災関連医療関係者用

(<http://www.jcc.gr.jp/banner/311/notice-fordoctors.html>)

日本感染症学会: 地震・津波後に問題となる感染症

(http://www.kansensho.or.jp/disaster/110322_disaster.pdf)

日本呼吸器病学会: 東日本大震災被災地域の皆様へ呼吸器に関する Q&A

(http://www.jrs.or.jp/home/modules/citizen/index.php?content_id=134)

* メンタルヘルス

災害時こころの情報支援センター

(<http://saigai-kokoro.ncnp.go.jp/>)

* 慢性疾患への対応

日本高血圧学会: 被災地の高血圧患者への Q&A

(http://www.jpnh.org/files/cms/137_1.pdf)

日本糖尿病学会: 震災関連情報

(http://www.jds.or.jp/modules/shinsai/index.php?content_id=1)

* 妊産婦・小児

日本産科婦人科学会: 東日本大震災に関わるお知らせ

(http://www.jsog.or.jp/news/shinsai_index.html)

日本小児科学会: 東日本大震災について

(<http://www.jpeds.or.jp/tohoku-j.html>)

* 透析関連

日本透析医会: 災害時情報ネットワーク

(<http://www.saigai-touseki.net/>)

* 在宅酸素関連

日本呼吸器病学会: 在宅酸素療法や NPPV による治療の相談医療機関

(<http://www.jrs.or.jp/home/uploads/photos/706.pdf>)

日本呼吸器疾患患者団体連合会: 計画停電対象地域の在宅酸素療法患者さんへ

(http://www.jrs.or.jp/jrs_patient/info/zaitakusansoryoho.html)

* 放射線被曝関連

公益財団法人原子力安全研究協会: 緊急被曝医療研修のホームページ

(<http://www.remnet.jp/introduction/01.html>)

原子力規制委員会: 緊急時情報ホームページ

(<http://kinkyu.nsr.go.jp/>)

添付資料 9: 医療救護チーム 1 チームあたりに必要な物品一覧例

- (1) 診察用具一式(聴診器・ライト・打腱器など)
- (2) ディスポ手袋 M, S それぞれ 2 箱
- (3) 清潔手袋 6.5, 7, 7.5 それぞれ 10 セット
- (4) 携帯型 SaO₂ モニタ 1 個
- (5) 携帯型心電計 1 個
- (6) 血圧計(電池・手動)1 セット
- (7) CPR セット 1 式
- (8) 電池式吸入器 1 個
- (9) 舌圧子 100 x n(日数)
- (10) 包交セット(綿球と鑷子が一緒になったもの) 20 x n
- (11) ガーゼ 4 つ折り 5 枚セット 20 x n
- (12) ガーゼ 4 つ折り 20 枚セット 5 x n
- (13) 消毒薬(イソジン、ヒビテンなど)
- (14) 酒精綿 3 箱 x n
- (15) 注射器 (5ml)20 本
- (16) 注射器 (10ml)50 本
- (17) 注射針 18G, 22G, 23G それぞれ 2 箱
- (18) 輸液セット 5 x n
- (19) 留置針 20G, 22G, 24G それぞれ 1 箱
- (20) テープ 2 箱
- (21) 包帯 2 箱、弾性包帯 10 巻
- (22) ディスポのメス 1 箱
- (23) 鑷子、鉗子など少数
- (24) トレックスガーゼ 10 枚 x n
- (25) 被覆材 大小 10 枚ずつ x n
- (26) うがい薬、コップ、手指消毒薬
- (27) 記録用紙、筆記具

添付資料 10: 災害時携行用医薬品リスト

新潟中越地震の欄 : 川口町での医療活動を参考に作成した、1週間程度の活動に携行する医薬品リスト

東日本大震災の欄 : 東松島市鳴瀬地区を拠点とした医療活動において使用された医薬品リスト

約3か月半に及ぶ活動であったため、亜急性期、慢性期に使用される医薬品が混在する。

【 内 用 剤 】

	薬効分類	医薬品名	新潟中越地震 (亜急性期)		東日本大震災 (亜急性期+慢性期)	
			携行薬	携行数量	携行薬	使用数量
1	抗不安剤	アタラックス-Pカプセル25mg			○	100
2	抗不安剤	2mgセルシン錠	○	200	○	300
3	抗不安剤	デパス錠0.5mg			○	1,000
4	抗不安剤	デパス錠1mg			○	50
5	抗てんかん剤	デバケンR錠200			○	200
6	抗精神病薬	リスパダール錠1mg			○	200
7	抗精神病薬	リスパダール内用液1mg/mL			○	50
8	催眠・鎮静剤	サイレース錠1mg			○	250
9	催眠・鎮静剤	ブロチゾラム錠0.25mg	○	200	○	650
10	催眠・鎮静剤	マイスリー錠5mg	○	100	○	800
11	解熱鎮痛消炎剤	ロキソプロフェン錠60mg	○	500	○	1,600
12	解熱鎮痛消炎剤	カロナール錠200mg	○	200	○	900
13	総合感冒剤	PL配合顆粒(1g/P)	○	1,000	○	3,000
14	鎮痙剤	ブスコパン錠10mg	○	50	○	50
15	鎮痙剤	アキネトン錠1mg			○	100
16	抗めまい剤	メリスロン錠6mg	○	50	○	250
17	利尿剤	ラシックス錠20mg			○	130
18	不整脈用剤	ワソラン錠40mg			○	350
19	血圧降下剤	アムロジピンOD錠2.5mg	○	200	○	500
20	血圧降下剤	アムロジピンOD錠5mg	○		○	1,200
21	血圧降下剤	アダラートL錠10mg			○	300
22	血圧降下剤	アダラートCR錠20mg			○	300
23	血圧降下剤	ディオバン錠40mg			○	500
24	血圧降下剤	プロプレス錠4			○	550
25	血圧降下剤	ミカルディス錠20mg			○	350
26	血圧降下剤	レニベース錠2.5mg	○	100		
27	血圧降下剤	レニベース錠5mg			○	300
28	抗狭心症剤	ニトロペン舌下錠0.3mg	○	20	○	30

29	高脂血症用剤	プラバスタチンNa錠10			○	250
30	高脂血症用剤	リピトール錠5mg			○	300
31	去痰剤	ムコダイン錠250mg	○	500	○	2,500
32	鎮咳剤	メジコン錠15mg	○	500	○	3,500
33	鎮咳去痰剤	メジコン散+ムコダイン DS+ムコソルバン DS ※			○	400
34	気管支拡張剤	テオドール錠100mg	○	200	○	300
35	気管支拡張剤	テオドールドライシロップ20%(50mg/P)	○	100	○	100
36	止瀉剤	ロペミンカプセル1mg	○	50		
37	整腸剤	ビオフェルミン配合散(0.5g/P)	○	100	○	200
38	整腸剤	ビオフェルミン配合散(1g/P)	○	200	○	800
39	整腸剤	ビオフェルミンR錠			○	350
40	消化性潰瘍用剤	セルベックスカプセル50mg	○	400	○	1,400
41	消化性潰瘍用剤	オメプラゾール錠10mg			○	400
42	消化性潰瘍用剤	ガスター錠20mg	○	100	○	400
43	下剤	プルゼニド錠12mg	○	100	○	800
44	下剤	酸化マグネシウム(0.5g/P)	○	100	○	350
45	下剤	マグラックス錠330mg			○	1300
46	制吐剤	プリンペラン錠5mg	○	100	○	150
47	止血剤	トランサミンカプセル250mg			○	750
48	副腎皮質ホルモン剤	プレドニン錠5mg	○	100	○	200
49	抗血小板剤	バイアスピリン錠100mg	○	100	○	300
50	抗血小板剤	ワーファリン錠1mg			○	150
51	血糖降下剤	アマリール0.5mg錠			○	200
52	血糖降下剤	ダオニール錠1.25mg	○	100	○	20
53	血糖降下剤	ベイスンOD錠0.3			○	200
54	血糖降下剤	メデット錠250mg			○	250
55	抗ヒスタミン剤	ポララミン錠2mg	○	200		
56	抗アレルギー剤	アレグラ錠60mg			○	1,200
57	抗アレルギー剤	アレジオン錠10			○	700
58	抗アレルギー剤	アレロック錠5			○	500
59	抗アレルギー剤	ザジテンドライシロップ0.1%(0.3mg/P)	○	100	○	100
60	抗アレルギー剤	ジルテック錠10			○	200
61	抗生物質	クラリス錠200mg	○	200	○	400
62	抗生物質	クラリシッド・ドライシロップ10%小児用(50mg/P)	○	100	○	100
63	抗生物質	ケフラールカプセル250mg	○	400	○	300
64	抗生物質	ケフラール細粒小児用(100mg/P)	○	200	○	150
65	抗生物質	サワシリンカプセル250mg	○	200	○	300
66	抗生物質	サワシリン細粒10%(100mg/P)	○	100	○	150
67	抗生物質	ジスロマック錠250mg			○	120
68	抗生物質	フロモックス錠100mg			○	100
69	抗菌剤	クラビット錠100mg	○	200		
70	抗菌剤	クラビット錠500mg			○	200
71	抗ウイルス剤	ビクロックス錠200	○	200	○	40
72	抗ウイルス剤	バルトレックス錠500			○	70

※ メジコン散(10mg)、ムコダイン DS(300mg)、ムコソルバン DS(10mg)／1包あたり

【 外用剤 】

1	解熱鎮痛消炎剤	ボルタレンサポ25mg	○	50	○	50
2	解熱鎮痛消炎剤	アンヒバ坐剤小児用100mg	○	30	○	30
3	抗菌剤	クラビット点眼液0.5%5mL	○	10	○	10
4	抗アレルギー剤	ザジテン点眼液0.05%5mL	○	10		
5	抗アレルギー剤	フルナーゼ点鼻液50 μ g28噴霧用			○	50
6	抗アレルギー剤	リボスチン点眼液0.025%5mL			○	80
7	抗狭心症剤	フランドルテープ40mg/枚	○	10	○	100
8	気管支拡張剤	サルタノールインヘラー100 μ g13.5mL	○	5		
9	気管支拡張剤	ベネトリン吸入液0.5%30mL	○	2		
10	気管支拡張剤	メプチン10 μ gエア―100吸入			○	10
11	気管支拡張剤	ホクナリンテープ0.5mg	○	50	○	40
12	気管支拡張剤	ホクナリンテープ1mg	○	50	○	300
13	去痰剤	ビスルボン吸入液0.2%500mL	○	1		
14	制吐剤	ナウゼリン坐剤10mg	○	20	○	20
15	制吐剤	ナウゼリン坐剤30mg	○	20	○	10
16	口内炎治療剤	ケナログ口腔用軟膏0.1%2g	○	10	○	40
17	副腎皮質ホルモン剤	リンデロン―VG軟膏0.12%5g	○	10	○	40
18	消炎剤	アズノール軟膏0.033%20g	○	20	○	10
19	抗ヒスタミン剤	レスタミンコーワクリーム1%10g(小分け)	○	20	○	50
20	抗菌剤	ゲーベッククリーム1%50g	○	20	○	6
21	抗生物質	ゲンタシン軟膏0.1%10g	○	20	○	30
22	抗生物質	ソフラチュール貼付剤10cm \times 10cm/枚	○	10		
23	抗ウイルス剤	ゾビラックス軟膏5%5g	○	10	○	10
24	抗真菌剤	ラミシールクリーム1%			○	10
25	殺菌消毒剤	オラドールトローチ0.5mg	○	400	○	300
26	含嗽剤	イソジンガーグル液7%30mL	○	100	○	70
27	浣腸剤	ケンエーG浣腸液50%30mL	○	5		
28	鎮痛剤	インテバン軟膏1%25g			○	20
29	鎮痛剤	ボルタレンゲル1%25g	○	10		
30	消炎鎮痛パップ剤	MS冷シップ20g \times 5枚			○	130
31	消炎鎮痛パップ剤	MS温シップ20g \times 5枚			○	20
32	消炎鎮痛パップ剤	ミルタックス6枚入	○	100		
33	消炎鎮痛パップ剤	モーラステープ20mg(7cm \times 10cm) \times 7枚			○	400
34	軟膏基剤	白色ワセリン10g(小分け)			○	30
35	消毒薬	ウエルパス1000mL	○	10		
36	消毒薬	ポピヨドン液10%250mL	○	3	○	1
37	消毒薬	消毒用エタノールB液IP500mL	○	3		
38	消毒薬	マスキ水0.05%500mL	○	5	○	5
39	その他	生理食塩液(開栓型)1000mL	○	10		
40	その他	滅菌精製水(開栓型)1000mL	○	20		

【 注 射 剤 】

1	鎮痛剤	ペンタジン注射液15mg1mL	○	5		
2	抗不安剤	ホリゾン注射液10mg2mL	○	5		
3	抗不安剤	アタラックス-P注射液25mg1mL	○	5		
4	副交感神経抑制剤	アトロピン硫酸塩注0.5mg1mL	○	5		
5	局所麻酔剤	キシロカイン注ポリアンブ1%10mL	○	10		
6	強心・昇圧剤	イノバン注100mg5mL	○	5		
7	強心・昇圧剤	ドブトレックス注射液100mg5mL	○	5		
8	強心・昇圧剤	ノルアドリナリン注1mg1mL	○	5		
9	強心・昇圧剤	アドレナリン注0.1%シリンジ	○	5		
10	気管支拡張剤	ネオフィリン注250mg10mL	○	5		
11	抗生物質	パセトクール静注用1gバッグS	○	10		
12	抗生物質	ペントシリン注射用1g	○	10		
13	電解質輸液	ラクテック注500mL	○	5	○	3
14	電解質輸液	ソリタT1号輸液500mL	○	5		
15	生理食塩液	生理食塩液PL20mL	○	30	○	40
16	生理食塩液	生理食塩液100mL	○	10		
17	トキシイド	沈降破傷風トキシイド0.5mL	○	20	○	15
18	インスリン製剤	ヒューマリンR注100単位/mL 1000単位10mL	○	1	○	5
19	インスリン製剤	ランタス注ソロスター 300単位3mLシリンジ			○	5
20	インスリン製剤	ノボリンN注フレックスペン 300単位3mLシリンジ			○	5

※ 医薬品名は平成24年9月現在の名称に統一した。

添付資料 11: 災害時携行用薬剤関連資材リスト(亜急性期・1週間分)

区分	物品名	数量
調剤用物品	処方せん	300枚
	内用剤薬袋	500枚
	外用剤薬袋	200枚
	外用剤プラスチックボトル100mL	20個
	軟膏つぼ30g	10個
	ビニール袋	500枚
	軟膏べら	1本
	調剤印	1個
	お薬手帳	100冊
事務用品	ノートパソコン	1台
	マジック(黒・赤)	各1本
	ボールペン	2本
	輪ゴム	1箱
	ホッチキス	1台
	セロハンテープ	1個
	電卓	1台
	ハサミ	1本
書籍	医薬品集(医療用・一般用)	各1冊
	医薬品鑑別辞典	1冊
	治療指針	1冊
医薬品保管容器	保冷容器	1台
	冷却剤	20個
	リュックサック(巡回診療用)	1個
	調剤用ケース(薬保管用)	20個

別途作成のものが挿入

添付資料 13: 災害医療援助者自身の「こころのケア」

被災者の救護にあたる医療援助者は、災害現場の悲惨な状況を目撃することや、被災者に接することで、直接的・間接的にストレスを受ける。想像を絶するような被災状況を目の当たりにし、被災者からの外傷的体験の話しを聞くと聞き手も精神的打撃を受けて、心と身体に様々な変化が起こりえる(二次被災)。したがって災害時の困難な状況下でも、援助者が心の健康を保ちながら支援活動が行えるように、自身が体験するストレス反応とストレスマネジメントについて理解した上で被災地へ赴く必要がある。

1. 援助者に生じる心理的な反応

極めてストレスの高い状況が深刻であったり、長期に及んだりすると、燃え尽き症候群や ストレス関連障害、うつ状態などが見られる場合がある。

2. ストレス症状の自己診断

以下の症状の4～5項目なら問題ないが、6～7項目以上あてはまる場合には注意が必要

- 周囲から冷遇されていると感じる
- 向こう見ずな態度をとる
- 自分が偉大のように思えてしまう
- 休息や睡眠をとれない
- 同僚や上司を信頼できない
- ケガや病気になりやすい
- ものごとに集中できない
- 何をしても面白くない
- すぐ腹が立ち、人を責めたくなる
- 不安がある
- 状況判断や意思決定をよく誤る
- 頭痛がする
- よく眠れない
- 酒やタバコが増える
- じっとしていられない
- 気分が落ち込む
- 人と付き合いたくない
- 問題があると分かりながら考えない
- いらいらする
- もの忘れがひどい
- 発疹が出る

引用文献: 災害時のこころのケア, 日本赤十字社

3. ストレスマネジメント

- 1) ストレスの兆候が現れたら、自分の気持ちやストレスに感じていることを素直に認める
- 2) 「自分はよくやっている」「これでいいんだ」と頑張っている自分の行動を認める
- 3) 自分だけで何とかしようと気負わず、自分の限界を知り、チーム内で協力し合い、お互いに声を

かけながら活動することが大切

- 4)活動の場から離れた際には、ストレッチ体操や、深呼吸を試みる。自分の好きな音楽を聴いてみるなどして、自分自身がリラックスできるような工夫をする
- 5)ちょっとした嬉しいことや楽しいことがあったら他者と笑いあえるような工夫をする
- 6)家族や友人と電話やメールなどで連絡をとりホッとできる時間を作る
- 7)休めるときは十分に休息をとり、食事や水分もしっかりととる
- 8)ストレス症状の自己診断で6～7項目以上あるいは、不眠や不安、気持ちの辛さがある場合は、チームリーダーや心の専門家に早めに相談する

4.支援活動後の日常生活への復帰方法

- 1)任務が終了したと自分に言い聞かせる
- 2)休養・休息を心がけリフレッシュする時間を作る
- 3)家族や友人と過ごせる時間を大切にする
- 4)燃え尽き症候群やストレス関連障害、うつ状態などの兆候がみられる場合は心の専門家に相談する

添付資料 14：急性期の災害看護

- (1) 状況評価、安全確保：災害という特殊な場所で安全で迅速な救護活動を行なう為に、バリアーの装着、周囲の安全性の確保を行う。
 - ア 感染防御：ガラスや金属片などが散乱している場合が想定される。そのような場所での救護活動では血液、体液等による汚染が予測される。手袋、ゴーグル、マスク、ガウンなどバリアーを装着して行うことが望ましい。
 - イ 現場周囲の安全性：救護活動を始める前に、状況評価・安全確保を行う。二次災害の危険の有無を判断し、場合によっては傷病者を避難させた後、または二次災害の原因となるものを取り除いた後で救護活動を行う。
 - ウ 傷病者、状況の確認：傷病者の数と傷病状況の確認。
- (2) 外傷看護：初期評価：傷病者の生理学的状態から蘇生処置の必要性を判断する。
 - ア 意識・気道：用手頸椎固定を行いながら声かけを行う。声が出れば気道は開通していると判断。気道に問題があれば下顎挙上を行い気道の確保を行う。
 - イ 呼吸：傷病者の口元に耳をあて口鼻からの空気の出入りを耳で聴き、ほほで感じるとともに、胸郭の動きを目で確認する。（見て、聴いて、感じて）呼吸が不十分であれば人工呼吸を開始する。
 - ウ 循環：橈骨動脈を触知し、触れれば血圧は80mmhg以上あると判断。触れなければ頸動脈を触知し、触れれば60mmhg以上はあると判断。頸動脈がふれなければCPR適応となる。明らかな出血はガーゼなどにより直接圧迫止血を行う。
 - * 初期評価の段階で呼吸、循環に異常があると判断した場合は人工呼吸、心臓マッサージを施行する。
 - エ 全身観察：傷病者の解剖学的状態から重大な臓器損傷の有無を判断する。（添付参照）
- (3) 熱傷看護（添付参照）
- (4) 慢性疾患看護（高血圧、糖尿病、心疾患、呼吸器疾患など）

患者の状態を把握し、災害が起こる前までの治療コントロールに近づけるよう調整を行う。

（例：内服薬の有無、食事・運動・生活状況等）

状況評価を行う。状況評価では感染防御を行い、救急現場の安全確認、二次災害の防止対策を講じる。受傷機転を把握

初期評価: 頸椎保護、気道の評価、呼吸、循環の評価を 15 秒以内に行う。この際、必要に応じた処置を行う。

全身観察: 部位別に頭部から下肢まで解剖学的な観察を行う中で生命の危機兆候を迅速に発見する。

頭部・顔面: 明らかな変形や出血の有無。変形がなければ直接圧迫止血施行。変形がある場合には出血部周囲の皮膚を圧迫し止血を施行する。意識レベルの確認を行い、レベルが 2 桁(JCS)であれば搬送(必要ならば災害拠点病院への広域医療搬送)を考慮する。搬送の際は医療機関につくまで 5 分毎に継続的な観察を行う。

頸部: 頸静脈の怒張(循環血流量が減少している際は出現しない場合もある)気管の偏位、皮下気腫の有無を確認する。確認後、頸部は動かさないように頸椎カラーで固定することが望ましい。

胸部: 視診として胸郭運動の左右差、外表面の損傷の有無。聴診は呼吸音の左右差、触診では頸部気管偏位、皮下気腫の有無。打診では鼓音、濁音の有無。圧痛や疼痛の有無。また、Spo2 の確認を行う。

主な胸部症状と処置

- ・開放性胸壁損傷(開放性気胸)・・・三辺テーピング
- ・緊張性気胸・・・胸腔内の減圧
- ・大量血胸・・・ドレナージ
- ・シンタンポナーデ・・・心嚢穿刺
- ・フレイルチェスト・・・厚く重ねたガーゼやタオルをあててテープで固定
- ・穿通性の異物がみられた場合にはそのままの状態固定する。

腹部: 明らかな損傷、膨隆の有無、圧痕の有無。腸管脱出している場合にはビニールなどで被覆する。また胸部同様穿通性の異物がみられた場合にはそのままの状態固定する。

骨盤と大腿: 腸骨を両側面から圧迫して動揺、痛みの有無を確認し、いずれかの症状がみられた場合には骨盤骨折の可能性があるためそれ以上の触診は行わない。もしいずれかの症状がみられなかった場合には恥骨を上方から圧迫し動揺、痛みを確認する。

骨折: 開放性骨折の場合には感染予防・止血目的にて開放部を清潔なガーゼで覆う。また疼痛緩和・変形予防目的でシーネ(場合によっては傘や板等)で固定する。

クラッシュシンドローム: 長時間局所が圧迫されることにより筋組織損傷がおこり、救出されると同時に急性腎不全、凝固機能障害、代謝性アシドーシスなどを合併し、全身状態が急速に悪化。瓦礫から救出する際はまず、カリウムが入っていない輸液を投与したのち救出するとよい。近隣の医療機関まで時間がかかる際は減張切開などを視野に入れる。高カリウムによる致死的不整脈、低ナトリウムによる除脈などが起こりうるためモニター管理やブラッドアクセスを用いて透析が行える病院への搬送が望ましい。

処置は救護所で行い、緊急の状態を安定させ医療機関への搬送に耐えられる状態にすることを目標にする。

*** 災害時は特に限られた医療資源、物資の中で援助活動が行われるため、フィジカルアセスメントを用いて観察することが求められている。また、問診は AMPLE を用いると抜けがなくてよい。**

【外傷看護: 全身で鑑別すべき臓器損傷】

タンポナーデ: 頸静脈の怒張、血圧低下、脈圧低下、奇脈、心音低下

気道外傷: 顔面外傷、頸部皮下気腫、喉頭損傷、気道狭窄音

フレイルチェスト: 胸郭の奇異運動や動揺

開放性胸壁損傷(気胸): 吸い込み創、創からの泡の混じった出血

緊張性気胸: 傷病者の呼吸音低下、鼓音、皮下気腫、気管の健側への偏移、頸静脈怒張

大量血胸: 呼吸音の左右差、患側胸部の濁音

腹部外傷: 腹部膨隆、腹壁の緊張、腹部圧痛、下腹部の圧痕

骨盤骨折: 骨盤の動揺・痛みの有無、下肢の伸長差

大腿骨骨折: 大腿の変形・腫脹、動揺・痛み、下肢の伸長差

【熱傷看護】

熱傷分類	障害組織	生体変化	外見	症状	消毒	処置
I度熱傷	表皮	軽度の浮腫	発赤・紅斑	疼痛・熱感	ヒビテン液 (0.05% ヒビテン水)	局所の冷却 消炎剤内服 ステロイド剤軟膏塗布
II度熱傷 (浅達性)	表皮	浮腫・水疱	水疱底が赤色	強い疼痛、 灼熱感	ポピドンヨード (イソジン)	水疱は温存 消毒後被覆剤で覆い感 染がなければ数日放置
II度熱傷 (深達性)	真皮		水疱底が蒼白	知覚鈍麻		小範囲の場合には上記と 同様の処置 広範囲の場合はIII度熱 傷処置と同様
III度熱傷	真皮全層 皮化組織	血管、血管内 の血球破壊 血流の途絶	壊死・白色	無痛性		感染防止目的で抗菌剤 の軟膏を塗布する。感染 があれば1回/2日ガーゼ 交換

【津波】

地震災害による広域災害であり二次的災害である。津波は規模や被害は予測不能なものである。

建物倒壊、家具などの転落、落下物によるものや、溺死などが直接の原因。また、低体温や脱水(海水を飲んで起こる)、クラッシュシンドローム、感染症などが挙げられる。

【感染】

インフラの破壊や避難環境の悪化に伴って感染症の発生のリスクが高くなる。冬季ではインフルエンザを含めた呼吸器感染症、夏季では食中毒を含め胃腸炎などの消化器症状が起こりやすい。

免疫機能が低下している高齢者に多いが、小児でも免疫力が未発達のため容易に感染症を起こしてしまう。

感染を拡大しないように努めることが大切である。とくに、避難所で手指の消毒、換気を徹底させるよう注意喚起していく必要がある

【救護チーム員用健康管理セット】

品名	数	品名	数	品名	数
総合ビタミン剤		消毒セット		血圧計	
総合感冒剤		イソジン		聴診器	
解熱鎮痛剤		ガーゼ		体温計	
健胃・消化剤		ソフトタイ		リップクリーム	

止痢剤		冷湿布		点眼薬	
整腸剤		カットバン(長方形)		マスク	
イソジンガーグル		ゲンタシン軟膏		手指消毒剤	

* チーム員の人数により、必要準備数を適宜設定する。

添付資料 16: 石巻圏合同救護チームの避難所アセスメントシート例

(避難所名:) 平成 年 月 日 : 現在

(地区名:)

重要度

凡例: ◎全員、○50%以上、△50%未満、×皆無

(救護チーム名:)

◎	支援チーム責任者の氏名と職名						
	常駐/巡回チーム の構成人数	(職種)	医師	看護師	薬剤師	事務	
		救護支援チーム	人	人	人	人	人
	現地スタッフ	人	人	人	人	人	
◎	人数全体	人	受診人数()人				
			発熱(38℃以上)()人、咳()人、嘔吐()人、下痢()人				
			インフルエンザ()人【※A()人B()人】呼吸器疾患()人、呼吸困難()人 ※インフルエンザにつきまして迅速診断された場合はその結果をお知らせください。				
◎	水	◎・○・△・×					
◎	食事	◎・○・△・×					
◎	電気	◎・○・△・×					
◎	毛布	◎・○・△・×					
◎	暖房	◎・○・△・×					
◎	衛生状態/トイレ	◎・○・△・×	水道 有・無	汲み取り ◎ ○ △ ×			
	既医療	□日赤 □東北大 □医師会 □その他()					
○	小児科ニーズ	◎・○・△・×	1歳未満()人 ニーズあり()人 氏名:				
○	精神科ニーズ	◎・○・△・×	不眠・不安()人、精神科疾患()人 ニーズあり()人 氏名:				
○	産婦人科ニーズ	◎・○・△・×					
	妊婦情報	()ヶ月()人 ()ヶ月()人					
	歯科ニーズ	◎・○・△・×	ニーズあり()人 氏名: 痛み有 無(入れ歯失くした等)				
	DM 専門医ニーズ	◎・○・△・×	ニーズあり()人 氏名:				
	皮膚科ニーズ	◎・○・△・×	ニーズあり()人 氏名:				
	眼科ニーズ	◎・○・△・×	ニーズあり()人 氏名:				
	感染症保健指導 ニーズ	◎・○・△・×	ニーズあり()人 氏名:				
	リーダー連絡先						
	その他						

添付資料 17: 石巻圏合同救護チームの避難所生活における感染管理上のリスクアセスメントシート例

平成 年 月 日

市町村名 _____

避難所名 _____

大体の人数 人 _____

記載者 _____

(所属)

(職種)

氏名 _____

利用可能な医療機関(あれば)

避難所の形態		
1	ホールなどに大人数が収容されている	ある・ない
2	教室や部屋など、個別に収容する場所がある	ある・ない
3	各家族同士の距離は、1m 以上離れている	している・不十分・できない
避難者の年齢構成		
4	小児(5才以上)	%
5	高齢者(65才以上)	%
6	妊婦	人
手指衛生		
7	水道水が復旧している	している・していない
汚物処理		
8	トイレは水洗で自動に流すことができる	できる・不十分・ない
9	トイレの清掃	できる・不十分・ない
10	おむつなどの排気場所が決められている	できる・不十分・ない
食品管理について		
11	調理者の手指衛生が可能	できる・不十分・ない
12	調理器具を洗うことができる	できる・不十分・ない
13	人数分の箸、コップ、皿などの食器類	ある・不十分・ない
14	食器類を洗うことができる	できる・不十分・ない
換気について		
15	換気扇や空調設備による換気が可能	できる・不十分・ない
16	構造上、避難場所の窓を開けることができる	できる・不十分・ない
体調管理について		
17	避難者の健康状態を把握している人がいる	している・していない
18	外部との連絡手段(電話・携帯)がある	ある・ない
物品の確保状況		
19	石鹸	ある・不十分・ない
20	速乾性アルコール手指消毒	ある・不十分・ない
21	マスク	ある・不十分・ない
22	消毒薬(次亜塩素酸:ハイターなど)	ある・不十分・ない
23	体温計	ある・不十分・ない
罹患状況 (可能であれば人数)		
24	発熱者(37.5℃以上を目安とする)	いる(現在 人、累計 人)・いない
25	呼吸器症状(咽頭痛、咳、痰など)を有する方	いる(現在 人、累計 人)・いない
26	消化器症状(嘔吐、下痢など)を有する方	いる(現在 人、累計 人)・いない
27	発疹を有する方	いる(現在 人、累計 人)・いない
要介護援助者の状況		
28	身体介護を要する方	いる(現在 人)・いない
29	認知症状のある方	いる(現在 人)・いない
30	身体障害者で援護を要する人	いる(現在 人)・いない
31	知的障害者で援護を要する人	いる(現在 人)・いない
32	精神疾患を抱え、服薬中の人	いる(現在 人)・いない
その他特記事項		

